

【我慢を続けた学校が予防対策をして動き出す】

山中学校来館ラッシュ

新型コロナ感染予防のため、対外的活動を自粛していた小中学校が、2学期になって万全な予防対策を講じながら動き出しました。東京への修学旅行を変更した地元中学校もあり、精一杯の対応をさせていただきました。

【9月3日】江刺第一中学校 2年生 & 水沢中学校 1年生



校外学習の複数の選択肢の中から希望してくれた、江刺第一中学校 2年生 36 名が来館。館内見学と隣接の公民館でスライドによる学習を行いました。

水沢中学校 1年生も、やはり校外学習の一環として8つの市内施設の中から選択し、グループ毎にウォークラリー方式で見学していきました。公園での楽しいお昼。久々の校外学習を満喫したようです。

【9月4日】水沢小学校 6年生

水沢には、高野長英・後藤新平・斎藤實の記念館があり、水沢小学校の6年生は、毎年1学期に時間をかけてそれぞれ見学をしています。2学期は、児童一人ひとりが先人3人から一人に絞り、より学習を深める機会をもっています。

この日は、後藤新平を選んでくれた児童39名が来館しました。2度目の来館ということもあり、最初から「質問の時間」。「なぜ自治三訣を思いつき、団員に推奨したのか。」「一番偉大な功績は何か。」「岩手県ではなく、なぜ東京市長になったのか。」等々の鋭い質問に、たじたじの館長対応となりました。



【9月11日】胆沢中学校3年生

これまで東京中心の修学旅行をしていた県内の中学校が、新型コロナの関係で、旅行先の変更を余儀なくされました。胆沢中学校もその流れの中で、当館を見学先に選んでくれました。128名の生徒に、楽しい思い出の一つにしてあげたいとの思いで、3人のスタッフ全員で精一杯の対応をさせていただきました。4組に分かれ、時間差での一日がかりの来館。笑顔の写真撮影(この時だけ、マスクを外しました)に、ほっと胸をなで下ろしました。

【NHKBS「英雄たちの選択」放送その後】

2月以降、後藤新平の「日清戦争帰還兵への検疫事業」が脚光を浴び、様々なマスコミの取材を受け、新聞に掲載されたりテレビに放映されたりしてきました。特に、8月19日に放映された「英雄たちの選択」以降は、「あれを見ました」という来館者が多数を占めるようになりました。全国ネットであることに加え、根強いファンを持つ人気の高い番組であることが察せられました。

